

**授業概要**

保育実習Ⅰに向けた事前・事後指導のための科目である。1年次の授業での経験を踏まえ、保育士としての専門性や現場での実践知をより高めるための準備・事後考察を目的とする。子どもとの関わりのみではなく、保育所の現状や保護者からのニーズ、法的環境等、多角的に保育を捉える視点を養い、より良い実習に繋げることを目指す。

**授業計画**

第1回	ガイダンス（保育所とは）
第2回	保育実習について（目的/概要/実習の流れ/課題）
第3回	保育所の一日の流れ
第4回	子どもの発達に応じた保育のあり方(0～5歳)
第5回	グループワーク①（製作:ふしぎなカード）
第6回	グループワーク②（絵本・紙芝居の読み聞かせ）
第7回	実習日誌の書き方①（日誌の書き方と意味）
第8回	指導案の書き方(0～2歳)
第9回	指導案の書き方(3～5歳)
第10回	グループワーク③（読み聞かせ/模擬保育）
第11回	実習園でのオリエンテーションの受け方
第12回	実習日誌の書き方②（日誌の目的・内容と方法）
第13回	グループワークの発表会と考察
第14回	保育所実習を前にして（より良い保育専門職となるために）
第15回	保育実習Ⅰの実習直前指導
第16回	保育実習Ⅰの事後考察（自己評価/報告書作成/グループディスカッション）

※外部講師を招聘して講演会を聴講する場合もあり得る。計画表等は授業内にて周知する。

**到達目標**

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 保育実習の意義・目的の理解          | 2. 保育所の内容・機能についての理解      |
| 3. 保育実習に必要な基礎的技能・知識の確認と習得 | 4. 保育実習Ⅰの反省と保育実習Ⅲへ向けての考察 |

**履修上の注意**

1. 保育実習Ⅰ（保育所）を履修予定の学生は必修である。
2. 科目の特性上、原則として遅刻・欠席等は一切認められない。
3. 実習を挟んだ授業展開のため、開講スケジュールは変則的になる場合があるので、講義内および掲示板での告知を各自確認すること。

**予習・復習**

毎回、指導案・日誌・製作などの課題が出る。それらの課題や作成書類等の提出は、必ず期日を守る。

**評価方法**

授業の取り組み態度、講義内での発言（30%）、課題・提出物の内容(50%)及び模擬授業（20%）等から総合的に評価する。

**テキスト**

教科書名：『保育所保育指針（平成29年告示）』 著者名：厚生労働省 出版社名：フレーベル館 ISBN：9784577814239	教科書名：『保育・教育のための実践事例で理解するわかりやすい「表現」』 著者名：梅澤実・森本昭宏 出版社名：創成社 ISBN：978-4-7944-8099-6
---	---